

【令和5年度 富良野市におけるSDGs推進支援事業】実施概要

富良野市において、北海道富良野高等学校3年生（「北海道学」受講生）を対象に、北海道内全体の経済、社会、環境等に係る現状やSDGs推進に関する講義を実施するとともに、地域における強み・課題をテーマとして、グループディスカッション及び意見発表を行いました。

さらに、同校においては、討論過程で生徒の皆さんから挙げられた地域課題「観光を基軸とした持続可能なまちづくり」に焦点を当て、北海道大学様や富良野市のご協力のもと、専門家による特別授業・意見交換を実施しました。

<概要>

- 日時：1回目 令和5年 8月21日（月）14:20～15:10
2回目 令和5年10月30日（月）14:20～16:00
- 場所：北海道富良野高等学校 視聴覚室
- 講師：北海道大学観光学高等研究センター 博士研究員 福山 貴史 氏
北海道総合政策部計画局計画推進課 職員
- 参加人数：3年生38名

<当日の様子>



(北海道の概況説明)



(高校生グループ討論)



(討論結果の発表)



(専門講師による特別授業)

<参加者からの主な意見>

- 富良野市は、観光資源として日中帯の自然景観に特化しており、宿泊を促す取組（昼間の観光客を引き留める仕組）が求められている。
- 夏のラベンダー、冬のスキーといった季節の特徴を活かした観光産業の一層の展開が重要。
- 既存の思考に囚われず、当たり前を疑うことが大切。まずは自分の足を掘り下げること、誰もやったことがないことに価値を見出し、発信すべき。雪も寒さも貴重な資源である。
- 富良野市が、近隣市町村を巻き込んで「広域エリア」として日本へ、そして世界へ売り出そうとしている取組は大変良いと感じる。

【令和5年度 余市町におけるSDGs推進支援事業】実施概要

余市町において、北海道余市紅志高等学校2年生（「公共」授業履修生）を対象に、北海道内全体の経済、社会、環境等に係る現状やSDGs推進に関する講義を実施するとともに、地域における強み・課題をテーマとして、グループディスカッション及び意見発表を行いました。

さらに、同校においては、討論・発表の前段で、SDGsへの理解を一層深めることを目的として、外部講師主導のもと、対話形式のワークショップを実施しました。

<概要>

- 日時：令和5年9月11日（月）13:25～15:15
- 場所：北海道余市紅志高等学校 教室
- 講師：ワークショップデザイン describe with 代表 高橋 優介 氏
北海道総合政策部計画局計画推進課 職員
- 参加人数：2年生 25名

<当日の様子>



(北海道の概況説明)



(高校生グループ討論)

<参加者からの主な意見>

- 海と山に囲まれ、豊かな食材にも恵まれているという地域特性に「誇りと愛着」を持っている住民が多いことを再確認した。
- ウイスキーやワインといった地元ならではの素材をまだ生かしきれていない点が課題だ。
- 若者を中心とした町民自身による発信力を強化するとともに、国際化が進むニセコ地域と隣接していることも勘案して、多言語化を推進し、世界へと打って出るべきだ。
- SDGsワークショップについては、クイズや対話を通じて、世界の現況と地域の実情とのギャップを認識する良いきっかけとなった。

【令和5年度 遠軽町における SDGs 推進支援事業】実施概要

遠軽町において、北海道遠軽高等学校1年生を対象に、北海道内全体の経済、社会、環境等に係る現状や、SDGsの観点から踏まえた同町の現況分析に関する講義を、遠軽町のご協力のもと実施するとともに、地域における強み・課題をテーマとして、グループディスカッション及び意見発表を行いました。

さらに、遠軽町においては、まち全体でのSDGs推進に向けて、職員の皆さまを対象に、同町次期総合計画へSDGs要素を盛り込むことを見据えた研修会を実施しました。

<概要>

○1回目支援

□日時：令和5年9月22日（金）13:20～15:10

□場所：北海道遠軽高等学校 体育館

□講師：遠軽町総務部企画課長 中原 誉 氏、北海道総合政策部計画局計画推進課 職員

□参加人数：1年生全5クラス 166名

○2回目支援

□日時：令和6年2月27日（火）15:30～17:00

□場所：遠軽町健康福祉総合センターげんき21 多目的ホール

□講師：北海道総合政策部計画局計画推進課 職員

□参加人数：遠軽町職員 30名

<当日の様子>



(遠軽町職員から町の概況説明)



(高校生グループ討論)



(遠軽町職員向け SDGs 研修会)

<参加者からの主な意見>

○高校生への手厚い就学支援や、地域医療体制の中心役を担う遠軽厚生病院など、近隣から住民を呼び寄せるソフト、ハードが充実している。

○観光客や移住者など外部からの人の呼び込み施策が弱い点が課題。

○SDGsの要素を町総合計画に盛り込む際には、SDGsに対する理解度が人によって異なることを配慮し、それぞれの視点に併せて議論を進めていく必要があると感じた。

【令和5年度 深川市における SDGs 推進支援事業】実施概要

深川市における SDGs の推進に向けて、市職員の皆さまを対象に、道職員が講師となり、SDGs の基礎知識や行政としての進め方に関する研修会を実施しました。

同市においては、既に市総合計画に SDGs の要素が反映されていることから、改めてその意義の確認と、地方自治体における SDGs の推進方策等を主要テーマとして、より実践的な講義を行いました。

<概要>

□日時：令和5年12月22日（金）14:00～15:30

□場所：深川市役所 大会議室

□講師：北海道総合政策部計画局計画推進課 職員

□参加人数：深川市職員 50名

<当日の様子>

